

〈病院理念〉いつでも、だれもが、安心してかけられる医療を追求します。

倉敷医療生活協同組合
水島協同病院
基幹型臨床研修病院
倉敷市水島南春日町 1-1
(代表) **086-444-3211**
(外来) **086-444-1222**

うちの病院

No.369 2025年
4月号水協の
ホームページも
ご覧くださいLINE
お友達募集中!!<https://www.mizukyo.jp>

不登校

〜行きたいのに
行けない子どもたち〜

後編



発達相談員

檀上 貴史
だんじょう たかし

前回、不登校の子どもたちは家にいても登校していない罪悪感を常に感じていることを理解し、つらさの原因にきちんと対処すること、登校を無理強いしないことが大切だと書きました。

ルギーを回復することが何より大切だと思います。実際、家族や学校が家でゆっくりすることが必要だと考え、その子も安心して休めると、次第に元気になる子が多いと実感しています。

登校できたかどうかにかかわらず、エネルギーを回復することが大事

その子らしく、自分の人生を生きられることを目標に

不登校の子どもたちは、行けない自分をダメだと思っているため、家にいても心のエネルギーが低下してきます。

元気になる学校生活に戻れるといいのですが、中には学校生活自体になじめず学校に戻れない子もいます。(いじめや不適切な対応があった場合はその傾向が強まります) 競争的な評価や同調圧力など、学校を取り巻く価値観を変えていくことも必

そのために食欲も落ち、楽しいことも楽しめず表情が暗くなりがちです。車ではガンガン切れるかかっている状態で、いくらアクセルを踏んで前に進もうと思っても進まないのと似ています。

そうした状態の時には、登校できたかどうかに関わらず家で安心して心を休め、エネ



水島協同病院では無料・低額診療事業を行っています

初期研修医より 2年の研修を終えて

医師臨床研修センター
2年次初期研修医 吉浦雄飛

2年間の研修を通して、医師としての責任の重さを強く感じました。初めて患者さんを受け持ったときは、自分の判断がそのまま患者さんの健康に影響することに緊張しましたが、全力を尽くそうと覚悟を決めました。

また、医学的な治療だけでなく、患者さんの経済的な問題や家族関係にも目を向けることが大切だと学びました。外部研修ではさまざまな指導医のもとで学ぶ機会があり、視野が広がりました。この経験を活かし、これからも成長していきたいです。2年間ありがとうございました。

心肺蘇生学習 患者さんの安全につなげるために 全職員で取り組んでいます

当院では、今年より救急医療委員会の中の「急変時対応向上チーム」のメンバーで、BLS（一次救命処置）の学習を、全職員対象におこなっています。BLSインストラクター資格を持った10人が講師となり、急変時の初期対応を的確に行い、患者さんの安全の担保につなげられるよう、毎月1回開催しています。



手拍子に合わせ、胸骨圧迫を行う様子

自然と対応し、患者さんの安全につながる継続した学習会になるよう奮闘したいと思います。(救急医療委員会 楠 克枝)